

平面図

S=1:500



S=1:500

管No. 30.0×0.5×0.5  
ロープ橋工 A=4.0m2

管No. 15.0×1.0×2.0  
ロープ橋工 A=17.0m2

管No. 63.7×0×0.5×0.5  
ロープ橋工 A=33.7m2

管No. 63.7×4×1.0  
ロープ橋工 A=31.5m2

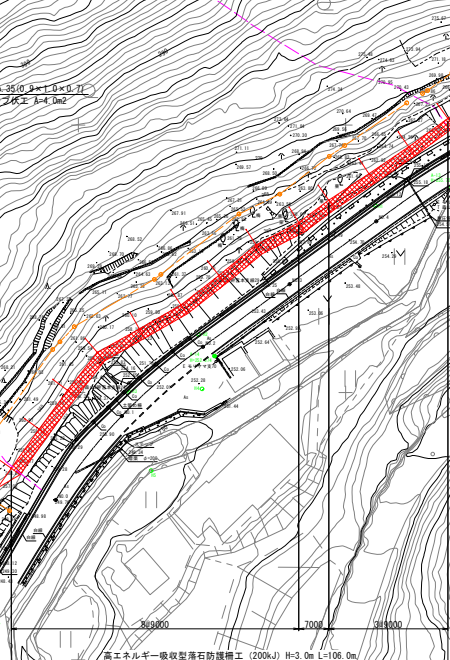
管No. 33.1×0.9×0.9  
ロープ橋工 A=4.0m2

管No. 56.2×0×2.8×0.0  
ロープ橋工 A=42.3m2

管No. 56.2×1.5×1.8×0.5  
ロープ橋工 A=42.3m2

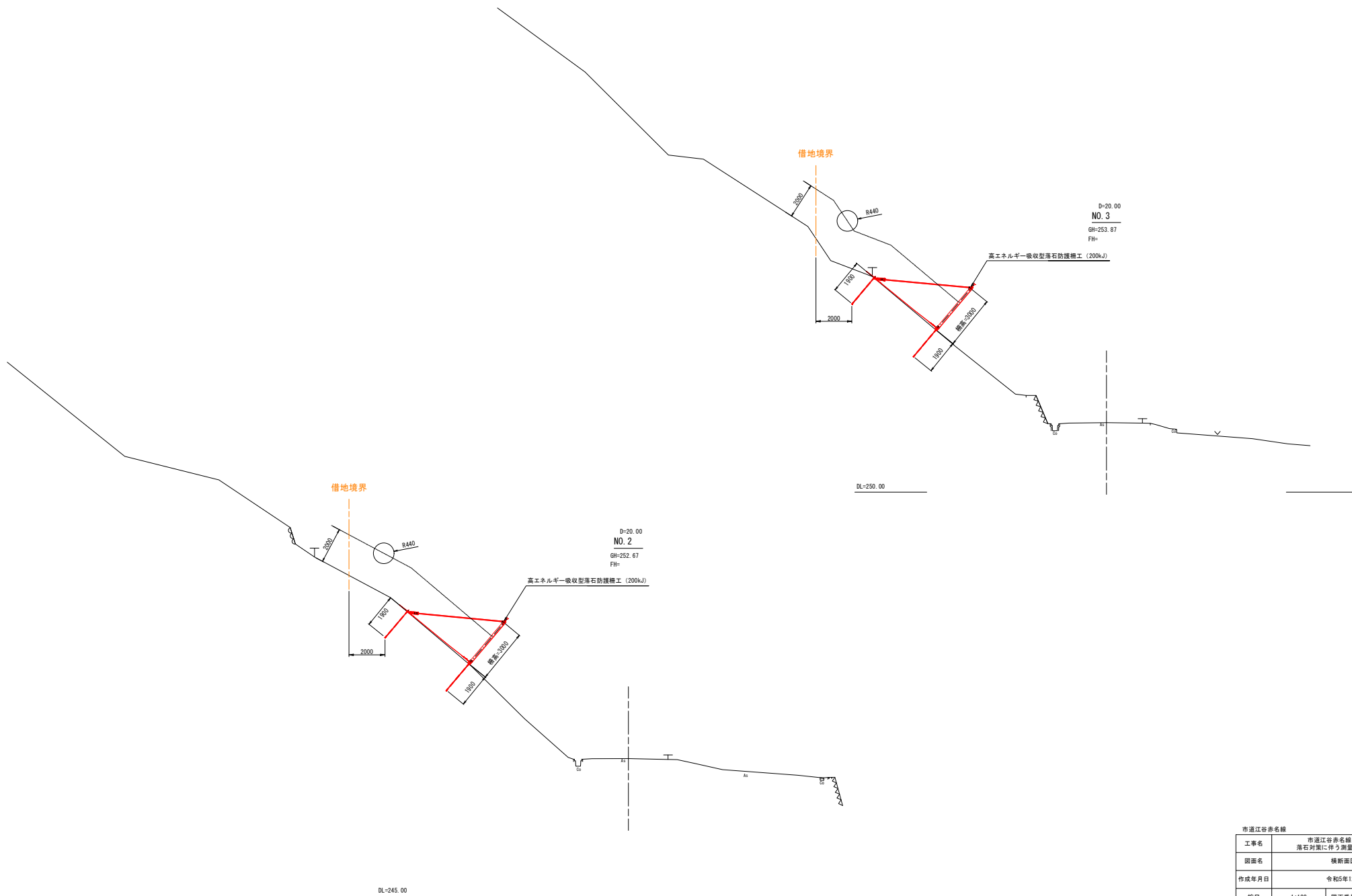
管No. 30.0×1.8×1.4  
ロープ橋工 A=54.0m2

管No. 35.0×1.0×0.7  
ロープ橋工 A=4.0m2

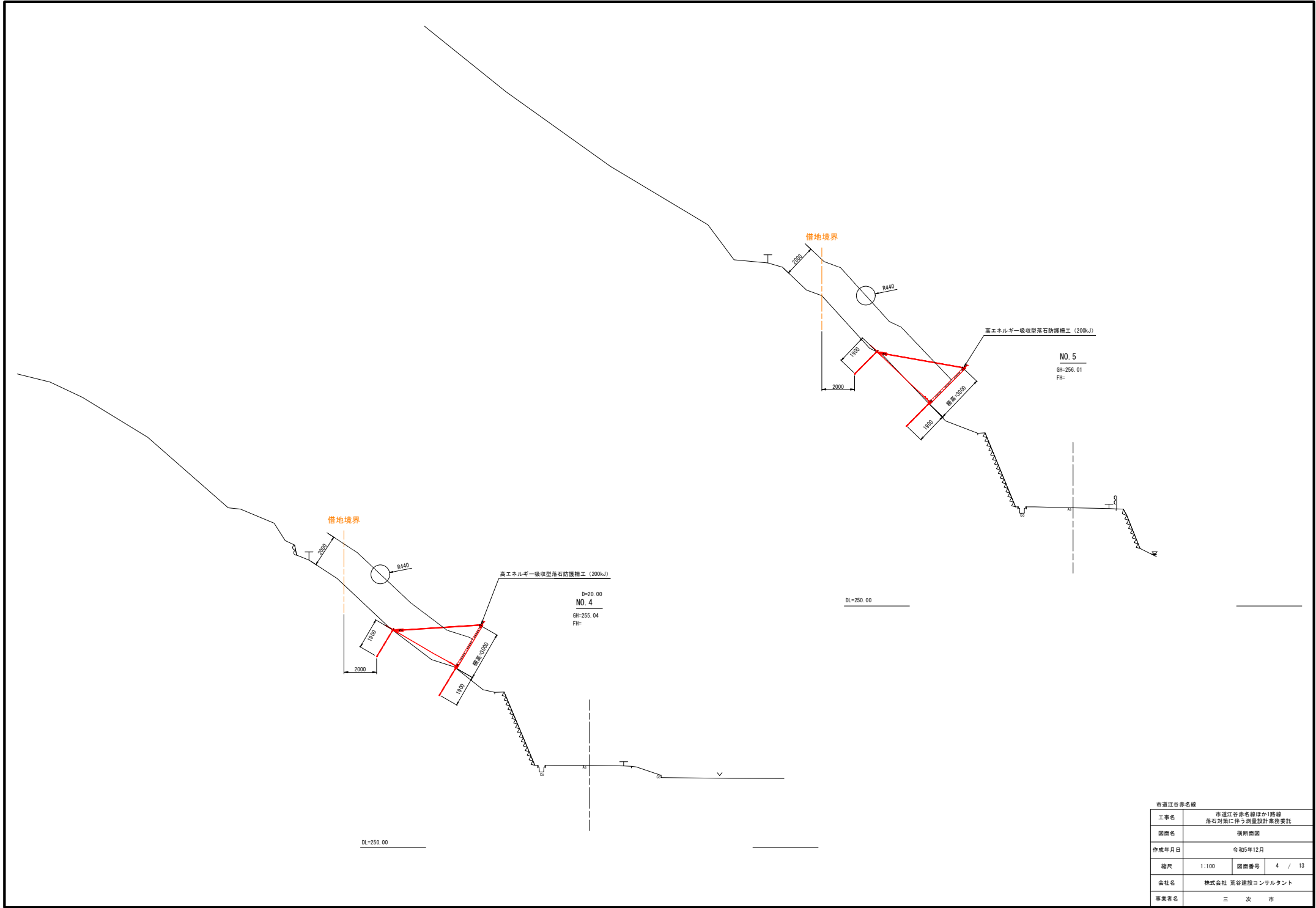


市道江谷赤池線			
工事名	鳥取県鳥取市江谷赤池線 落石防護に伴う防護設計業務委託		
図面名	平面図	図	
作成年月日	令和5年12月	図面番号	1/13
図尺	1:500	図面番付	1/13
会社名	株式会社 鳥取建設コンサルタント		
部署名	三 次 市		





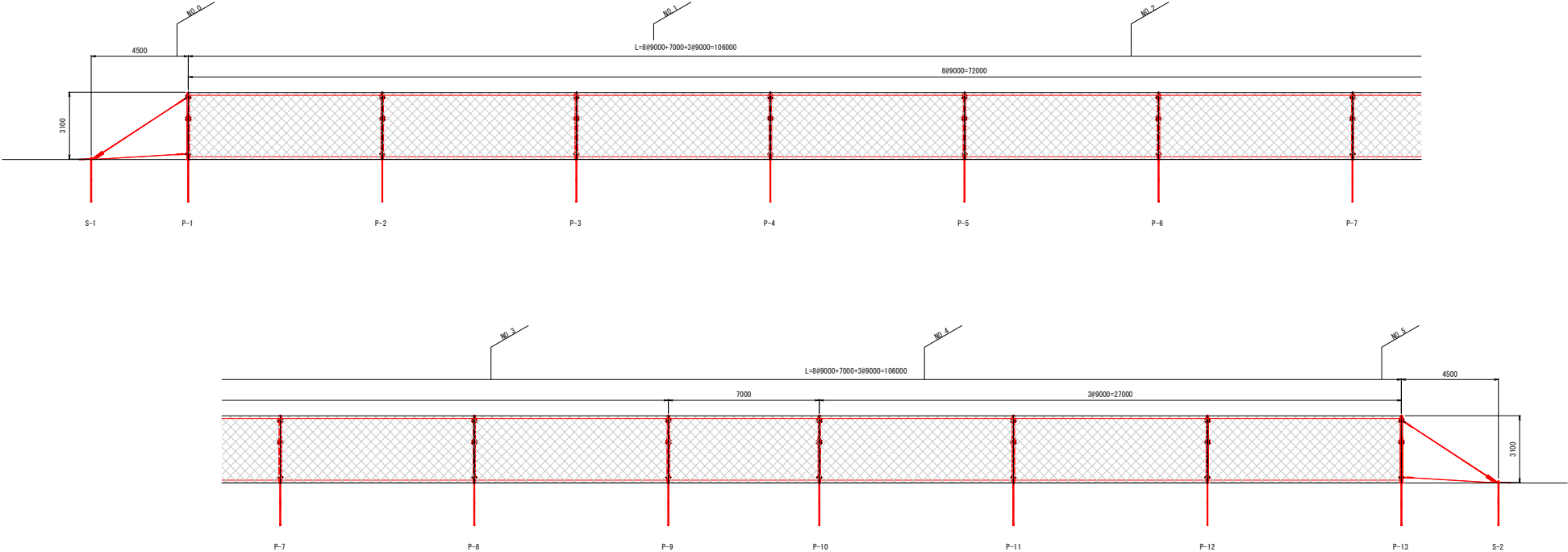
市道江谷赤名線			
工事名	市道江谷赤名線ほか1路線 落石対策に伴う測量設計業務委託		
図面名	横断面図		
作成年月日	令和5年12月		
縮尺	1:100	図面番号	3 / 13
会社名	株式会社 荒谷建設コンサルタント		
事業者名	三 次 市		



市道江谷赤名線			
工事名	市道江谷赤名線ほか1路線 落石対策に伴う測量設計業務委託		
図面名	横断面図		
作成年月日	令和5年12月		
縮尺	1:100	図面番号	4 / 13
会社名	株式会社 荒谷建設コンサルタンツ		
事業者名	三 次 市		

高エネルギー吸収型落石防護柵展開図

S=1/100



注 1 : P-○は支柱番号, S-○はサイドアンカー番号を示す。  
道路より山側を望み、左側(起点側)より番号とする。

市道江谷赤名線			
工事名	市道江谷赤名線ほか1路線 落石対策に伴う測量設計業務委託		
図面名	高エネルギー吸収型落石防護柵展開図		
作成年月日	令和5年12月		
縮尺	1:100	図面番号	5 / 13
会社名	株式会社 荒谷建設コンサルタント		
事業者名	三 次 市		



$$S=1/30$$

正面図



(1スパンあたり)

支柱間隔 (SP)	ワイヤロープ(水平用)		ワイヤロープ(斜め用)		橋高保持材(本)
	ロープ長(m)	結合コイル(個)	ロープ長(m)	結合コイル(個)	
7.0m	15.5 × 4本	17 × 2ヶ所	6.9 × 4本	12 × 2ヶ所	1
9.0m	17.5 × 4本	22 × 2ヶ所	7.9 × 4本	16 × 2ヶ所	2

※ワイヤロープ（形状維持用）は、支柱頭部間隔に応じて切断すること。

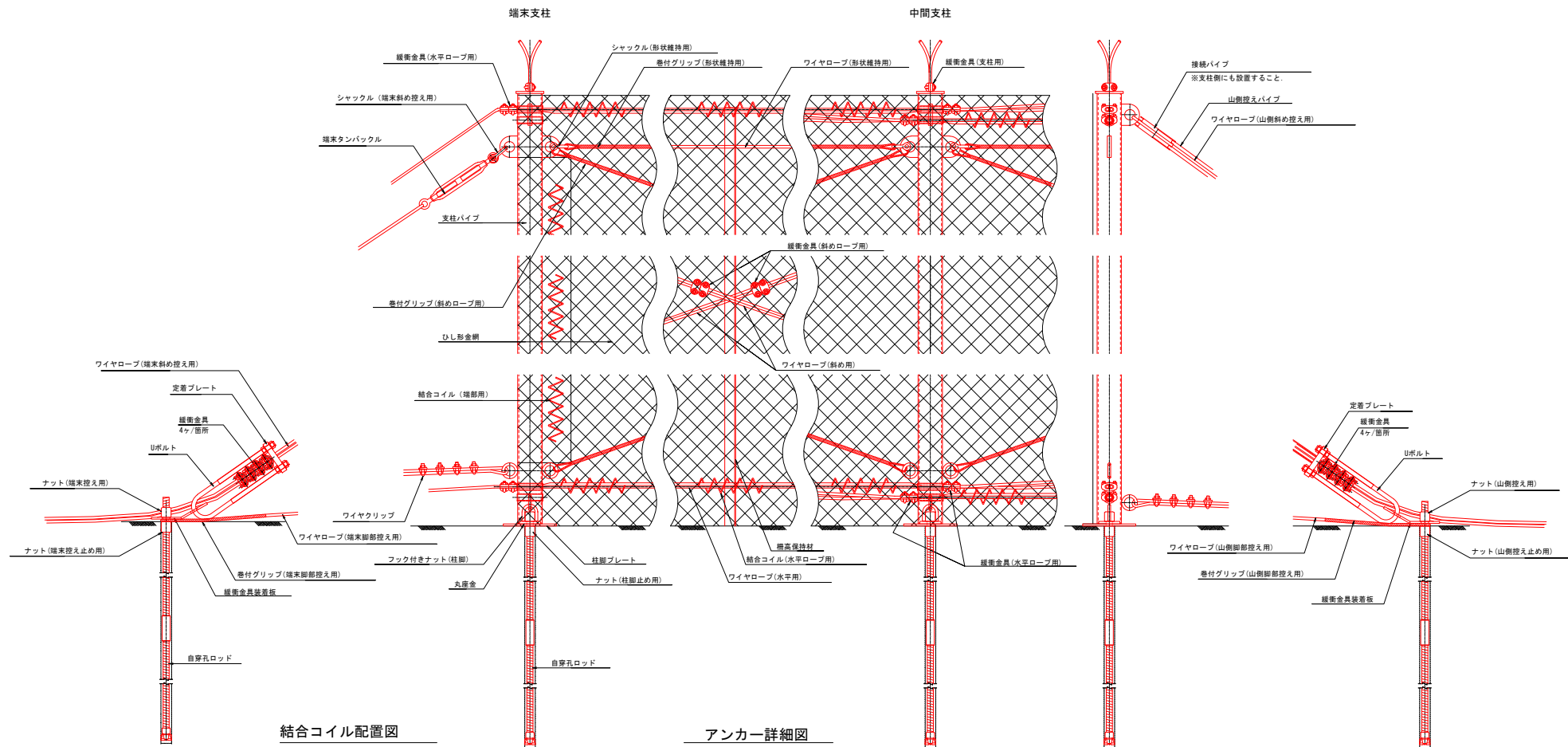
市道江谷谷赤井線			
工事名	市道江谷谷赤井線ほか1路線 落石対策に資する測量設計業務委託		
図面名	高エネルギー一般収容型石防護壁一般構造図（参考図）		
作成年月日	令和5年12月		
縮尺	1:30	図面番号	6 / 13
会社名	株式会社 荒谷建設コンサルタント		
事業者名	三 次 市		

(200kJ)

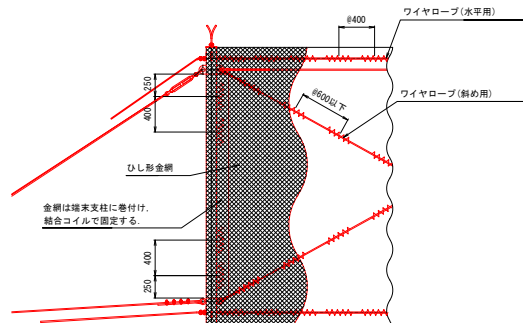
$$S=1/10$$

正面図

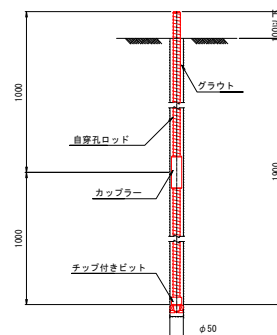
側面図



### 結合コイル配置図



## アンカー詳細図



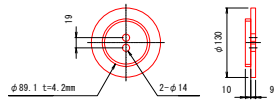
※ 施工時、表土厚調査後アンカー長を決定すること。

市道江谷赤井名線			
工事名	市道江谷赤井名線ほか1路線 落石対策に伴う測量設計業務委託		
図面名	高エネルギー吸収型落石防護構部分詳細図（参考図）		
作成年月日	令和5年12月		
縮尺	1:10	図面番号	7 / 13
会社名	株式会社 荒谷建設コンサルタント		
事業者名	三 次 市		

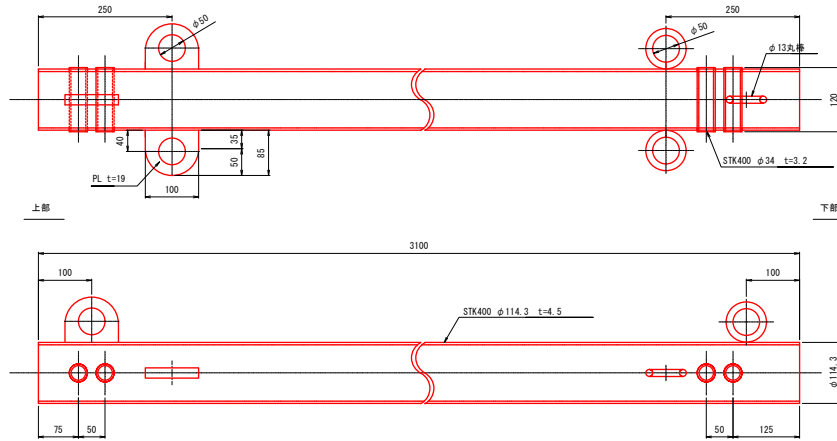
# 高エネルギー吸収型落石防護柵部品詳細図（参考図）

(200kJ)

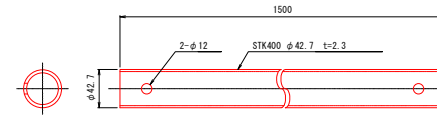
支柱キャップ S=1/5



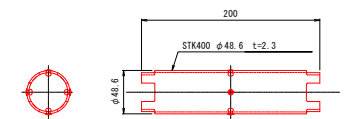
支柱パイプ S=1/5



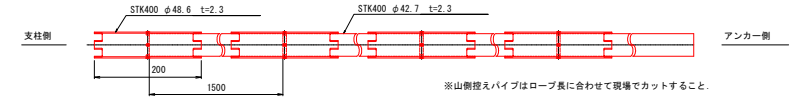
山側控えパイプ S=1/3



接続パイプ S=1/3

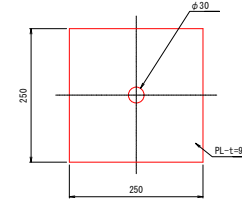


組立図 S=1/5

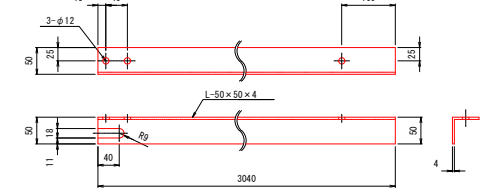


※山側控えパイプはロープ長に合わせて現場でカットすること。

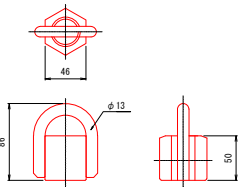
柱脚プレート S=1/5



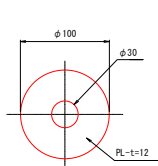
柵高保持材 S=1/5



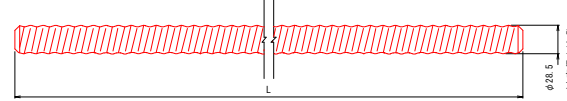
フック付きナット(柱脚) S=1/3



丸座金 S=1/3



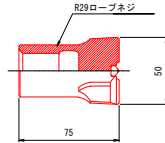
自穿孔ロッド S=1/3



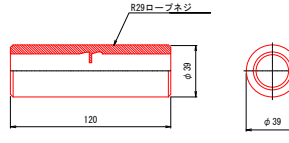
ナット S=1/3



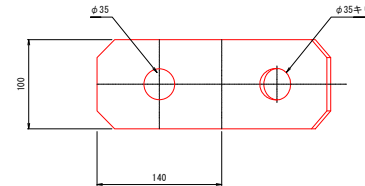
チップ付きビット S=1/2



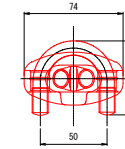
カップラー S=1/2



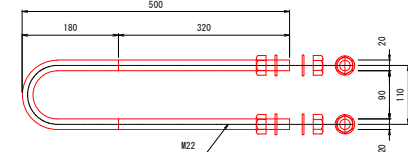
緩衝金具装着板 S=1/3



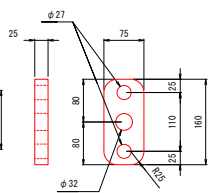
緩衝金具 S=1/2



Uボルト S=1/5

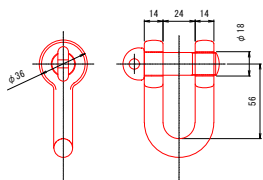


定着プレート S=1/5



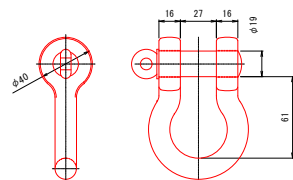
シャックル S=1/2

呼び14  
(形状維持ロープ設置用)



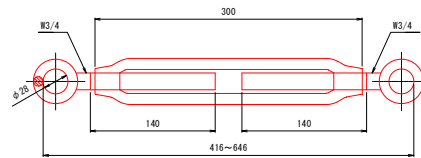
シャックル S=1/2

呼び5/8  
(端末斜め控えロープ設置用)

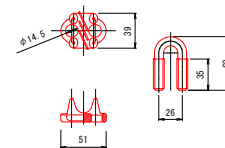


端末タンバクル S=1/3

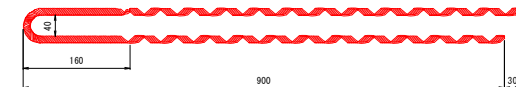
呼び19 (ARC200のみ)



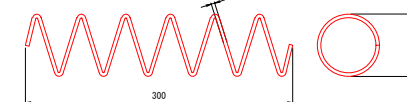
ワイヤクリップ S=1/3



巻付グリップ S=1/5



結合コイル S=1/3



市道江谷赤名線	市道江谷赤名線ほか1路線
工事名	落石対策に伴う測量設計業務委託
図面名	高エネルギー吸収型落石防護柵部品詳細図（参考図）
作成年月日	令和5年12月
縮尺	図示 図面番号 8 / 13
会社名	株式会社 荒谷建設コンサルタント
事業者名	三 次 市



※ ワイヤロープ長=アンカー間距離-1.0m(タンバックル+金具)

※ ワイヤロープ長=アンカー間距離-1.0m(タンバックル+金具)

※ ワイヤロープ長=アンカー間距離-1.0m(タンバックル+金具)

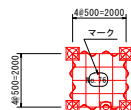
※ ワイヤロープ長＝アンカー間距離－1.0m(タンバックル＋金具)

※ ワイヤロープ長=アンカー間距離-1.0m(タンバックル+金具)

※ ワイヤロープ長=アンカー間距離-1.0m(タンバックル+金具)

# ロープ伏工展開図

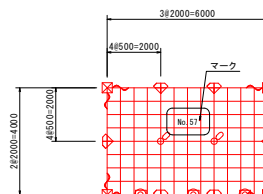
岩No. 76 ロープ伏工  
A = 4.0 m2



記号	種 別	仕 様 ・ 規 格	単位	数 量
	ロープ伏工 面積		m2	4.0
☒	岩用アンカー	D22 (M20) × 1000	本	
☒	兼用アンカー (補強棒管)	D22 (M20) × 1500+φ60.5×3.2t × 500	本	4
☒	岩用三方アンカー	D22 (M20) × 1000	本	
☒	兼用三方アンカー (補強棒管)	D22 (M20) × 1500+φ60.5×3.2t × 500	本	
☒	岩用交点アンカー	D22 (M20) × 1000	本	
☒	兼用交点アンカー	D22 (M20) × 1500	本	
☒	押えアンカー	D22 (M20) × 1000	本	1
+	主ワイヤロープ	φ12-3×7 G/0	m	8.0
+	補助ワイヤロープ	φ12-3×7 G/0	m	12.0
└	巻き付けグリップ	φ12用	本	20
○	クロスクリップ	(小)	個	21

※ 施工時、表土厚調査後アンカー長を決定すること。

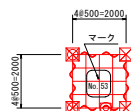
岩No. 57 ロープ伏工  
A = 24.0 m2



記号	種 別	仕 様 ・ 規 格	単位	数 量
	ロープ伏工 面積		m2	24.0
☒	岩用アンカー	D22 (M20) × 1000	本	4
☒	兼用アンカー (補強棒管)	D22 (M20) × 1500+φ60.5×3.2t × 500	本	
☒	岩用三方アンカー	D22 (M20) × 1000	本	6
☒	兼用三方アンカー (補強棒管)	D22 (M20) × 1500+φ60.5×3.2t × 500	本	
☒	岩用交点アンカー	D22 (M20) × 1000	本	2
☒	兼用交点アンカー	D22 (M20) × 1500	本	
☒	押えアンカー	D22 (M20) × 1000	本	3
+	主ワイヤロープ	φ12-3×7 G/0	m	34.0
+	補助ワイヤロープ	φ12-3×7 G/0	m	72.0
└	巻き付けグリップ	φ12用	本	44
○	クロスクリップ	(小)	個	105

※ 施工時、表土厚調査後アンカー長を決定すること。

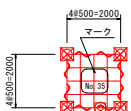
岩No. 53 ロープ伏工  
A = 4.0 m2



記号	種 別	仕 様 ・ 規 格	単位	数 量
	ロープ伏工 面積		m2	4.0
☒	岩用アンカー	D22 (M20) × 1000	本	2
☒	兼用アンカー (補強棒管)	D22 (M20) × 1500+φ60.5×3.2t × 500	本	2
☒	岩用三方アンカー	D22 (M20) × 1000	本	
☒	兼用三方アンカー (補強棒管)	D22 (M20) × 1500+φ60.5×3.2t × 500	本	
☒	岩用交点アンカー	D22 (M20) × 1000	本	
☒	兼用交点アンカー	D22 (M20) × 1500	本	
☒	押えアンカー	D22 (M20) × 1000	本	1
+	主ワイヤロープ	φ12-3×7 G/0	m	8.0
+	補助ワイヤロープ	φ12-3×7 G/0	m	12.0
└	巻き付けグリップ	φ12用	本	20
○	クロスクリップ	(小)	個	21

※ 施工時、表土厚調査後アンカー長を決定すること。

岩No. 35 ロープ伏工  
A = 4.0 m2



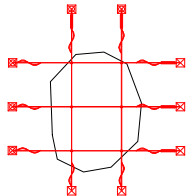
記号	種 別	仕 様 ・ 規 格	単位	数 量
	ロープ伏工 面積		m2	4.0
☒	岩用アンカー	D22 (M20) × 1000	本	
☒	兼用アンカー (補強棒管)	D22 (M20) × 1500+φ60.5×3.2t × 500	本	4
☒	岩用三方アンカー	D22 (M20) × 1000	本	
☒	兼用三方アンカー (補強棒管)	D22 (M20) × 1500+φ60.5×3.2t × 500	本	
☒	岩用交点アンカー	D22 (M20) × 1000	本	
☒	兼用交点アンカー	D22 (M20) × 1500	本	
☒	押えアンカー	D22 (M20) × 1000	本	1
+	主ワイヤロープ	φ12-3×7 G/0	m	8.0
+	補助ワイヤロープ	φ12-3×7 G/0	m	12.0
└	巻き付けグリップ	φ12用	本	20
○	クロスクリップ	(小)	個	21

※ 施工時、表土厚調査後アンカー長を決定すること。

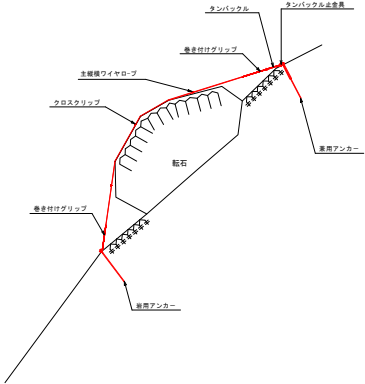
市道江谷赤名線			
工事名	市道江谷赤名線区画1路線 落石対策に伴う測量設計業務委託		
図面名	ロープ伏工展開図		
作成年月日	令和 5 年 12 月		
縮尺	S=1:100	図面番号	10 / 13
会社名	株式会社荒谷建設コンサルタント		
事業者名	三 次 市		

ロープ掛工構造図 S=1:100

標準構造展開図 S=1:100

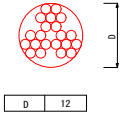


標準横断面図 S=1:100



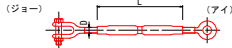
ワイヤロープ

φ12 3×7 6/0



D	12
---	----

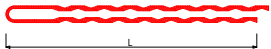
タンバックル



タンバックル

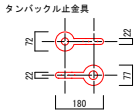
規格	D	L
φ22 J&E	22	320

巻き付けグリッ プ φ12用



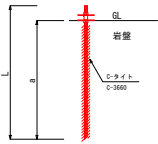
寸法表

	名称	L
巻き付けグリッ プ : 端未用	φ12用	900



	主縦・横ロープ	岩用アンカー	兼用アンカー	兼用アンカー	巻き付けグリッ プ	クロスクリッ プ	タンバックル
ワイヤロープ φ12 3×7 6/0		D22 (M20) ×1000	D22 (M20) ×1500+φ60.5×3.2 t ×500	D22 (M20) ×2000+φ60.5×3.2 t ×900	φ12用 (L=900)	(小) 3.2 t ×65×60	φ22 J&E

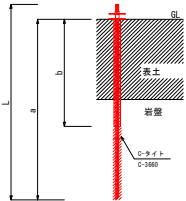
岩用アンカー D22



岩用アンカー

規格	a	L
D22 (M20) ×1000	900	1000

兼用アンカー D22



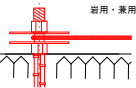
兼用アンカー

規格	補強単管	a	b	L
D22 (M20) ×1500+φ60.5×3.2 t ×500	φ60.5×3.2 t ×500	1400	500	1500
D22 (M20) ×2000+φ60.5×3.2 t ×900	φ60.5×3.2 t ×900	1900	900	2000

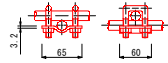
岩用・兼用アンカー (端未) 平面



岩用・兼用アンカー (端未) 側面



クロスクリッ プ (小)



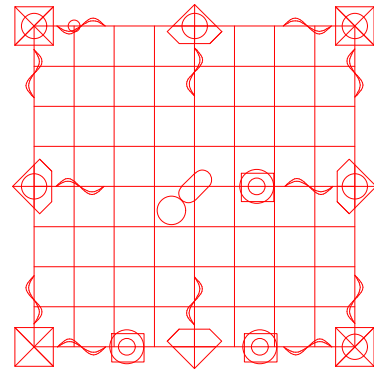
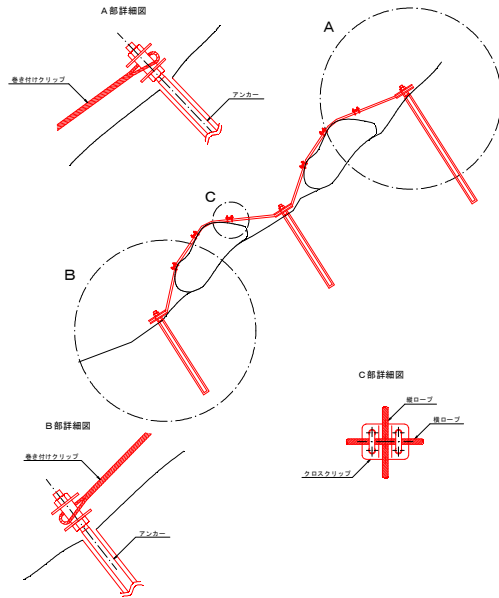
市道江谷赤名線

工事名	市道江谷赤名線区1路線 落石対策に伴う測量設計業務委託
図面名	ロープ掛工構造図
作成年月日	令和 5 年 12 月
縮尺	S=1:100
図面番号	11 / 13
会社名	株式会社荒谷建設コンサルタン
事業者名	三 次 市

# ロープ伏工構造図

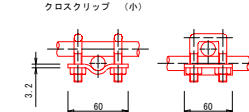
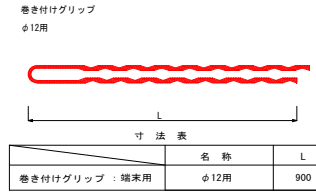
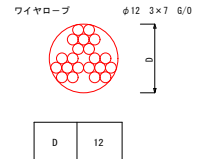
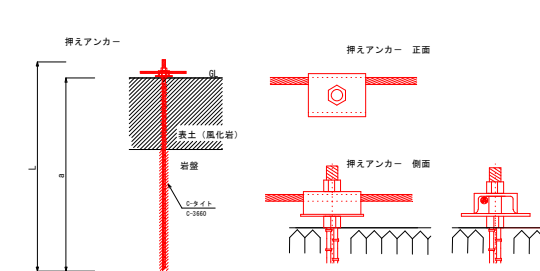
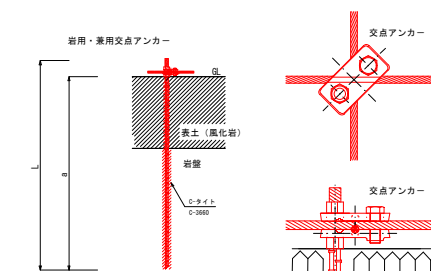
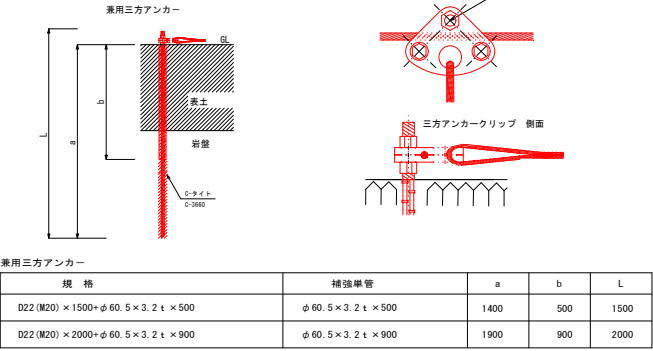
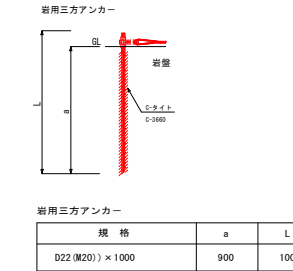
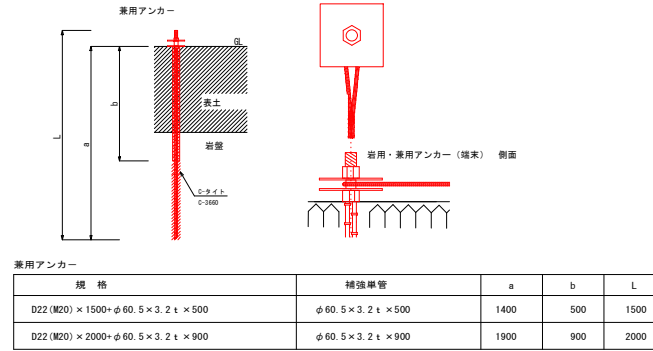
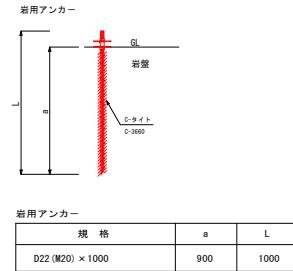
S=1:100

標準断面図



記号	種 別	仕 様 規 格	単 位
□	ロープ伏工	φ12型	m2
⊗	岩用アンカー	D22 (M20) × 1000	本
⊗	兼用アンカー (補強単管)	D22 (M20) × 1500+φ60.5×3.2t×500	本
⊗	岩用三方アンカー	D22 (M20) × 1000	本
⊗	兼用三方アンカー (補強単管)	D22 (M20) × 1500+φ60.5×3.2t×500	本
⊗	岩用交点アンカー	D22 (M20) × 1000	本
⊗	兼用交点アンカー	D22 (M20) × 1500	本
⊗	押えアンカー	D22 (M20) × 1000	本
+	主ワイヤロープ	φ12-3×7 G/O	m
+	補助ワイヤロープ	φ12-3×7 G/O	m
〰	巻き付けグリップ	φ12用	本
○	クロスクリップ	(小)	個

部材詳細図

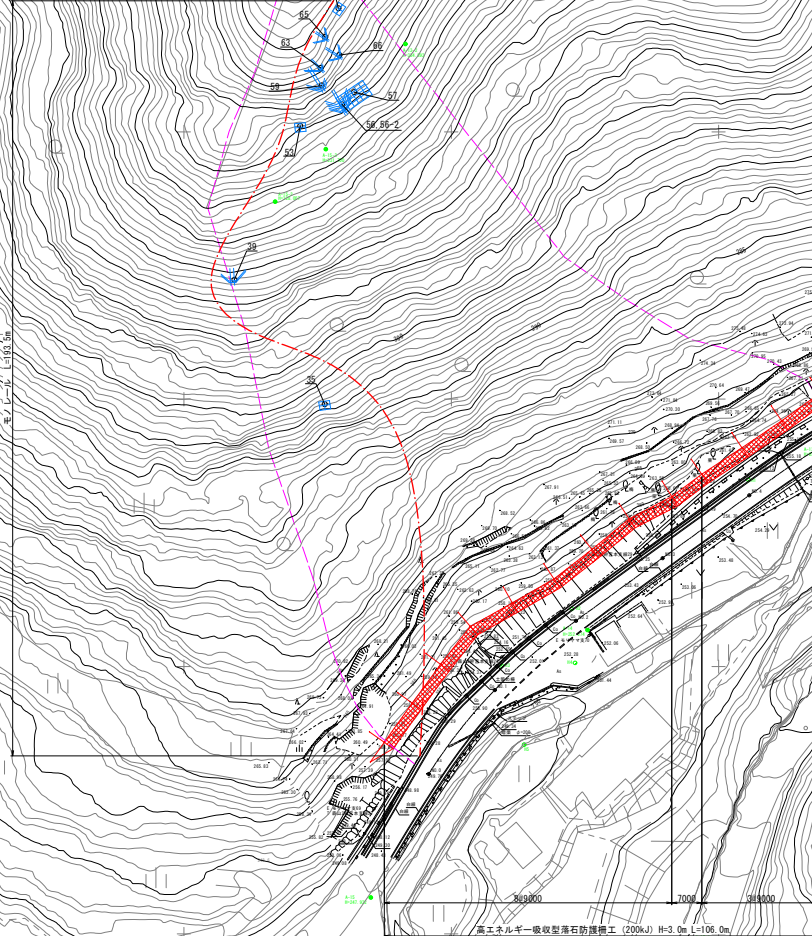


市道江谷赤名線	
工事名	市道江谷赤名線ほか1路線 落石対策に伴う測量設計業務委託
図面名	ロープ伏工構造図
作成年月日	令和 5 年 12 月
縮尺	S=1:100 図面番号 12 / 13
会社名	株式会社荒谷建設コンサルタント
事業者名	三 次 市



仮設平面図

S=1:500



土工ヘルパ一級収容落石防護柵工 (200xJ) H=3.0m L=106.0m

市道江谷赤池線			
工事名	鳥辺江谷赤池線沿道保護 落石防護柵工		
図面名	仮設平面図		
作成年月日	令和5年12月		
図尺	1:500	図面番付	13 / 13
設計者	株式会社 鹿角建設コンサルタント		
監理者	三 井 市		